東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター

障害者芸術文化活動の権利に関するミニ講座・勉強会実施要綱

1　企画趣旨

本企画は、障害者芸術支援の現場で、表現や作品の発表を支えるとともに、創作者本人の権利と尊厳を守るために必要な知識や対応を学ぶことを目的とする。近年は、知的財産権に加え、契約、個人情報、本人の意思確認、利益相反、資金調達など、幅広い権利に関する相談対応が求められている。このため、年間を通じたミニ講座と事例検討会を実施し、現場の課題整理と共通理解を図る。

2　目的

（1）障害者芸術支援において、権利を守るうえで重要な論点を整理し実務者どうしの共通理解を深める。
（2）著作権、契約、二次利用、個人情報、本人の意思確認などについて適切に判断できる力を高める。
（3）公募、展示、企業連携、アーカイブ、記録映像などの場面で起こりうるトラブルを防ぎ、適切に対応するための考え方を整理する。
（4）支援センター等の運営に関わる、利益相反、複数の立場からの相談対応、資金調達、苦情対応などの課題を整理し、今後のルールや文書整備に生かす。
（5）継続的な事例検討を通じて、地域や機関を越えて知見を共有できる土台をつくる。

3　講師

東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター権利保護アドバイザー
Arts & Considerations 行政書士事務所代表・行政書士　作田 知樹　氏

4　対象　※守秘義務を遵守できる方に限ります。

（1）障害者芸術文化活動支援センターの担当者
（2）行政担当者
（3）文化施設、福祉事業所、NPO 等で障害者芸術支援に関わる実務者
（4）展示、公募、広報、記録、商品化、企業連携等に関わる担当者
（5）著作権、契約、個人情報等に関する実務課題に関心を有する関係者

5　実施形態

（1）ミニ講義（1 回あたり 2 テーマを想定）　8 回
（2）事例持ち寄り勉強会　4 回
（3）オンライン（Zoom）で実施
（4）参加費無料

ミニ講義では、制度整理と実務上の論点整理を行う。事例持ち寄り勉強会では、参加者が匿名化した事例や文書案を持ち寄り、具体的な問題点や改善の方向性を検討する。

6　企画の特徴

（1）制度の説明にとどまらず、現場で起こる具体的な場面に即して学ぶ。
（2）講義と事例検討を組み合わせ、実務に生かせる内容とする。
（3）障害者芸術支援に特有の課題を重視する。
（4）作品や権利だけでなく、支援センター運営上の課題もあわせて扱う。

7　年間プログラム（案）　※ミニ講義は 13:00-14:00　事例持ち寄り勉強会は最長 90 分(13:00-14:30)

日　時	内　　容
4 月 24 日 （金） ①ミニ講義	**①公募要項・応募規約の基本――美術部門・ステージ発表部門を例に：**障害者文化祭等の公募において、募集段階で整理しておくべき権利・同意・個人情報の基本事項を確認する。展示系とステージ系各応募要項の留意点、公序良俗条項、作家写真、動画提出、撮影可否等を扱う。
5 月 22 日 （金） ②ミニ講義	**②企業連携・商品化・二次利用の基本／利益相反の概念整理：**企業との連携、商品化、広報利用、二次利用に関する基本的な考え方を整理するとともに、創作者支援と利用者対応の双方に関わる際の利益相反の構造と留意点を確認する。
6 月 26 日 （金） **③勉強会**	**③最近困っていることの持ち寄り――現場課題の共有と論点整理：**各センターが最近直面している実務上の課題や迷っている案件を持ち寄り、相互に意見交換する。年間を通じて扱うべき論点の共有と見取り図づくりを兼ねた回とし、相談会として利用してもよい。
7 月 24 日 （金） ④ミニ講義	**④権利擁護の基本構造／本人の意思確認・同意形成・意思決定支援：**障害者芸術支援における権利擁護を、著作権や契約に限らず、本人の尊厳、説明、選択、関係調整を含めて整理。あわせて、本人の意思確認や支援者・家族が関与する場面での留意点も確認する。
8 月 28 日 （金） ⑤ミニ講義	**⑤パフォーミングアーツの権利／映像記録・配信・再演の取扱い：**美術に加え、パフォーミングアーツや記録映像、配信等に関わる権利処理を整理する。既存楽曲の使用、出演者や協力者の関与、再演や再配信、記録映像の利用範囲などの論点を確認する。
9 月 25 日 （金） **⑥勉強会**	**⑥展示・広報・公表場面での判断に関する事例検討：**展示同意書、会場撮影可否、広報素材利用、作家紹介文、作家写真の提出・公開判断など、作品発表の現場で生じやすい課題を持ち寄り、実務上の論点を具体的に整理する。
10 月 23 日 （金） ⑦ミニ講義	**⑦報酬・利益配分・契約条件／フリーランス法・取引適正化を踏まえた発注実務：**謝金、使用料、ロイヤルティ、売上配分等の考え方を整理し、作品利用や発注に伴う契約条件の基本を確認する。企業連携や利益相反の論点も踏まえ、実際の契約実務につなげる。
11 月 20 日 （金） ⑧ミニ講義	**⑧要配慮個人情報と障害情報の取扱い／作家写真の公開、AI 利用、ディープフェイク等のリスク：**障害情報、顔写真、作家プロフィール、制作背景等の取扱いについて、個人情報保護の観点から整理。公開情報が AI 利用や無断転載、なりすまし等につながるリスクも確認する。
12 月 18 日 （金） **⑨勉強会**	**⑨契約条件・利用範囲・対価設定に関する事例検討：**作品利用、商品化、広報使用、販売委託等に関する事例を持ち寄り、契約条件、利用範囲、対価、利益配分、同意の取り方などを具体的に検討する。企業連携に限らず、支援現場で生じる条件設定や交渉上の悩みを共有する。
1 月 22 日 （金） ⑩ミニ講義	**⑩作者死亡への事前対応／死亡後の著作権・作品管理・遺族対応：**作者死亡時に備えて平時から確認しておくべき事項を整理するとともに、死亡後の著作権、作品保管、展示継続、記録公開、遺族との調整等の基本的な考え方を確認する。
2 月 26 日 （金） ⑪ミニ講義	**⑪利益相反ポリシーと複数の立場からの相談対応／自主事業の資金集めと法的留意点：**支援センター等が創作者側・利用者側の双方から相談を受ける場面や、推薦、あっせん、審査関与等で生じうる利益相反の問題を整理する。加えて、寄付、助成、協賛、事業収入、クラウドファンディング等の資金調達方法と法的留意点を確認する。
3 月 26 日 （金） **⑫勉強会**	**⑫死亡後対応・意思表示・家族対応、センター運営上の課題に関する事例検討：**作者死亡後の対応、作品保管、遺族との調整、本人の生前意思の確認に加え、利益相反、個人情報、苦情対応等の運営上の課題も含めて検討する。年間を通じて扱った論点をふまえ、今後の文書整備や対応ルールの課題を共有する。

7　お申込み方法

リンク先のフォームよりお申込みください(申込期日：開催日 3 日前の正午まで)。

https://forms.gle/MyqXbRGBvonN7YyX8